



石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 櫻井 弘

令和5年7月12日

第4号

ネットリテラシー

校長 櫻井 弘

6月に、全校生徒に向け「情報モラル講習会」実施し、講師の先生から安全に使うためのお話がありました。また、生成系AIについて、使い方やその制限に関してのニュースもよく目にします。インターネット、スマホ、アプリなど、どれも使い方を間違わなければ便利な道具です。夏休みを前に、その利用について再確認をしてもらいたいと思います。

「ネットリテラシー」とは「インターネットを使いこなす能力」ということです。インターネットの情報に振り回されるのではなく、自分の意志で情報を取捨選択し、使いこなす能力が必要です。ネットリテラシーが十分でない人に起こりやすい代表的な問題を5つ紹介しますので、自分の使用状況が安全かどうか確認する目安としてください。

1 情報を信用しすぎる

何か知りたいことがあったときは、パソコンやスマホを使ってすぐに検索することができます。その時、信頼できる・正確な情報のみを調べるのが理想ですが、残念ながらインターネット上には間違った情報や根拠がない情報も数多くあります。手軽に検索できるからこそ、「その情報は正しいのか？」という視点をもたなければなりません。ネットリテラシーが低いと、検索の一番上に出てくる情報を無条件で信じてしまう可能性があります。

2 個人情報をいつの間にかさらしてしまう

TwitterやInstagram等のSNSサイトで、個人の名前や住所、顔、行動範囲が知られてしまうような投稿を気軽にしていまい、空き巣被害やストーカー被害の原因になる場合があります。また、よく分からないサイトに個人情報やアカウントを登録したり、カード情報を入力したりすれば、なりすましや不正使用の被害者になる可能性もあります。最近のニュースでもあるように、高額なバイト料に誘われ、安易に応募したアルバイトが実は「闇バイト」で、そこから抜け出せず、特殊詐欺や強盗などの犯罪者となってしまいうこともあります。

3 他人の情報を勝手に使う

友だちや他人が写っている写真を許可なくアップしたり、他サイトの情報や画像を無断で自分のブログに載せたりなど、何気なく行っていまいがちな行為ですが、法的責任を問われるケースがあります。ネットリテラシーが低いことにより、被害者になる可能性だけでなく、加害者として訴えられてしまう可能性もあります。

4 アプリや無料ソフトを安易にダウンロードする

アプリやソフトは個人でも開発・公開が可能なため、中には悪意をもってプログラムを開発している人もいます。開発元がよく分からないアプリや無料ソフトなどを不用意にダウンロードすると、「ウイルスが入っていた」「個人情報を盗まれた」「後から使用料金を請求された」といった被害につながることもあります。

5 SNSでのトラブルに巻き込まれる

SNSへの投稿がきっかけで大きなトラブルに巻き込まれるケースは後を絶ちません。飲食店での不衛生な行動、線路等への立ち入り、コンビニでの問題行動などニュースにもなりました。悪意がなくても、ちょっとした言動や行動で炎上に巻き込まれる可能性もあります。情報を発信するときや自分の意見を述べるときなど、あなたが思っている以上の人に見られていることを意識しましょう。現実には、匿名だからということで攻撃したり無責任な意見を言ったりする人が大勢います。SNSは常にトラブルと隣り合わせという認識を持ってください。

今年の夏も暑い日が続きます。普段元気で体力に自信のある人も熱中症対策は必要です。この夏の生活スタイルに合わせしっかりと健康管理をしていきましょう。また、夏休みに入ればいつもより自分の時間が増えます。夏休みだからできること、夏休みにトライしてみたいことなどを考え、計画しておくことも時間を有効に使うためには大切なことだと思います。